

【特別養護老人ホームかしま壮】

海を一望できる、高台に立つ介護施設。地域と利用者とともに、楽しみながら働ける職場。

設立 40 年以上の歴史のある法人施設。超高齢化社会の中、老後が人生で一番充実してと感じられるよう工夫を凝らす施設。



黒潮町の高台に立ち、すぐ目の前には180度広がる太平洋。ここは設立40年以上の歴史のある法人施設。超高齢化社会の中、老後が人生で一番充実した時間だと感じてもらうため、様々な工夫と活動を行っている。地域と支えあい、安心して生活できる施設づくりを目指す、利用者にも職員にも温かい施設。



目まぐるしく忙しい毎日。でも楽しさとやりがいはそれ以上。

『恵まれた自然環境の中、限りある人生を』『恵まれた自然環境の中、限りある人生を楽しく暮らしてほしい。それは利用者だけが楽しむんじゃない、職員も一緒になって楽しむ。それが大事!』と話すのは施設長の福島まり子さん。高齢者の日常生活を手助けをする仕事だから、職員は教育者じゃない。絶対に利用者を「叱らない」「教育しない」徹底して職員に伝えている。職員が楽しそうやったら利

用者も楽しくなるがよ。

そうやって利用者を楽しませることを常に考えているこの施設では、花見、夕涼み会、運動会、クリスマス会などの年間行事に加え、保育園児たちとのレクリエーションや中学生の職場体験実習を受け入れて、若年層との触れ合いも大事にしている。

その他の特徴として、全国的にも珍しく施設内に”スナック”がある。地域の方も利用でき、お酒も提供している。（※現在はノンアルコール提供）気軽に利用できるよう価格を抑え、時には利用者が職員にご馳走してくれることもある。「おごってあげた、喜んでくれた」って優越感を感じれるがよ。と話す福島さん。ストレスや後悔なく、美味しいものを食べてお酒を飲んで、充実した老後を送ってほしい。思いやりにあふれた施設。

昔は女性ばかりだった職員も今は男性職員が増え、同性介護が行えるようになってきた。利用者にとっても職員にとってもストレスのない施設を目指している。

交代制で早出や夜勤もあり日々忙しいけれど、楽しさとやりがいはそれ以上。ここでしか味わえない感動や達成感がある。



人にやさしくできる方に来てほしい。

Q:どんな人に働いてもらいたいですか？

A:技術や知識はなくてもいい。いずれ必ず身につくから。ただ、人にやさしくできる人、思いやりのある人に働いてほしい。利用者は敏感に感じ取るから。

Q:慣れるまでに大変なこと、苦勞するかもしれないことはありますか？

A:コミュニケーションをとるのが苦手な方は最初苦勞すると思う。けれど、やさしい気持ちと思いやりがあればだんだんと利用者と上手にコミュニケーションが取れるようになる。やさしい気持ちが大事。

最後に・・・

仕事半分、遊び(遊び心)半分。一緒に楽しむことを大切にする施設。だから施設の中は笑顔と話し声が絶えない。家族のような距離感で、利用者の人生に寄り添う。ここでの経験は必ず人生の糧になるだろう。